

A L P S 処理水の海洋放出に係る関連産業の状況調査結果について（10月13日現在）

10/10～10/13の期間に産業団体等から聞き取り

(1) 既に生じている影響

○ 中国等へ向けた輸出停止による影響

(水産物連絡協議会)

- ・ 韓国、香港、台湾、アメリカ向けの輸出の動きが鈍くなっている。
- ・ 地域によっては冷凍庫の使用状況がほぼ100%のところもあり、新規の入庫は認められない状態である。
- ・ ホタテ等の水産物は、現在ある在庫やこれから加工する製品のいずれも高値で仕入れ・製造しており、国内向けに売価を下げての販売ができないため、新たな買い手が付かず販売がそれほど進んでいない。
- ・ 中国向けに輸出されていたホタテ等の水産物が、国内販売に向けられ、価格が日々下落傾向にある。

(商工関連団体)

- ・ ホタテ原貝では、輸出中止や水揚げ削減による市場取扱高の減少及び価格の下落。
- ・ 東京電力への損害賠償や補助金申請に係る相談が追加で2件あった。
- ・ 中国の禁輸措置の影響による中国からの引き合い減少に伴い、減収補てん資金等の資金繰りに関する相談が数件あった。

(食品関係団体)

- ・ ホタテの在庫が増え、保管料の負担が大きくなっている。

(2) 今後懸念すること

○ 中国の水産物輸入全面停止による影響

(水産物連絡協議会)

- ・ 構成団体の傘下の加工業者から国に対して、加工業者等が道産水産物の販促イベント等に参加するための旅費や宿泊費などに対する支援の要望あり。

(商工関連団体)

- ・ これから最盛期を迎える秋サケやマダラ、カレイ類、甲殻類等、また、年末に向けて出荷が増加する貝ホタテなど、中国向けの品物が国内向けに流れ込むことによる価格の下落。

(食品関係団体)

- ・ ホタテの在庫増に伴う玉冷価格の大幅な下落が予想され、水産加工業者から流通卸売業者への売価が原価を下回る可能性があり、道は、国内需要拡大の「食べて応援！北海道キャンペーン」を実施しているが、同時に水産加工業者へ売価下落による損失に対する対策を講じなければ、赤字が増加してしまう。
- ・ 東電への賠償請求等の書類作成は難しいことも多く、賠償金を受け取るまでに時間を要することとなるが、支援体制の構築がされていないため、スムーズな請求が行えない。

(3) 海外(中国)の状況(北海道上海事務所からの情報)

- ・ 10月12日～14日、深圳市で開催の食品展示会に道産品（水産品除く）を出展。来場した現地バイヤーからはネガティブな反応はなく、「現在は日本産食品の取扱いの様子見しているが、いずれ再開を見据え、粛々と準備を進める」という反応。